



「自分が好き、ふるさと和田市が好き」という気持ちを育む本市独自のキャリア教育事業は、市立小・中学校で各校の特色を生かして行われています。今号では、南小学校と大深内中学校の取り組みを紹介します。

※児童・生徒の感想は、ほぼ原文のまま掲載しています。

☎指導課 ☎ 0176-58-0183

南小学校

「夢を咲かせる会」(全校)

「夢を咲かせる会」は、20年以上続く伝統の児童会行事です。5、6年生がイベントを企画・運営し、1～4年生は異なる学年で班を作りイベントを回ります。「みとめあい なかよく みんなのしい 南小学校」が表現される心ひとつになる行事です。



おかず釣りゲーム

「めざせお米大使（稲作体験学習）」（5年生）

校歌で「黄金の実を結ぶため」と歌われ、校章に「黄金に輝く稲穂」がデザインされている南小学校のアイデンティティーともいえる「稲作体験学習」を15年間も継続して指導してくださっているのが「豊川さんご夫妻」です。この貴重な体験を通し、生きること、働くことなど、多くのことを学んでいます。



稲作体験学習



さわじり かずま
沢尻 和真さん（6年）

今までぼくたちは、先輩方にたくさん楽しませてもらいました。今度は、ぼくたちが1～4年生を楽しませる番です。この繰り返しが南小の伝統をつなぐことになります。夢を咲かせる会の「夢」というのは将来の夢を見つけることはもちろんですが、みんなにとって夢の空間になることだと考えています。ぼくは、この2つの夢とみんなの笑顔を咲かせ、自分も全力で楽しみたいです。



こいずみ はるき
小泉 陽幹さん（6年）

ぼくは、この会で目標に向けて意見を出し合いみんなで協力する大切さを学びました。一人一人がやるべきことをやり、協力し合うからこそ、みんなで作りあげた夢を咲かせる会になると思います。今年は最高学年として新たな学びを見つけられるようにやるべきことをやり、南小学校みんなで作りあげる会にしたいです。



ひらだて なつみ
平館 夏希さん（6年）

4年生までは、夢を咲かせる会のイベントを楽しむ側でしたが、5・6年生になると昨年よりもっと楽しいイベントになるように、工夫や改善点などを話し合います。今年は、夢を咲かせる会に「りんご娘」が来るので「青森らしいアイディア」を取り入れました。私は、6年生なので、最後の「夢を咲かせる会」になります。全校の思い出に残る最高の「夢を咲かせる会」にして、これからも南小学校の伝統として続いてほしいです。



にいだ さな
新井田 紗那さん（5年）

田植え体験では、豊川さんから、苗は3～4本束にして植えることを教えてもらいました。できるだけ足を動かさず、苗を植える場所に土がなくならないように気をつけながら、丁寧に植えることができました。稲の観察やタンボックル作りをしながら、お米大使を目指して頑張りたいです。

水田の妖精「タンボックル」



おもまえ ゆいな
大前 結菜さん（5年）

稲刈りでは、稲を結ぶ作業がとても大変でした。人生で初めて田植えや稲刈りをしてみて、農家の方々は苦労しながらも、私たちのために米作りをしてくださっていると感じました。だから、これから朝昼晩のご飯の時には、農家のみなさんへ感謝を込めて食べたいです。



いしくら あみ
石倉 杏美さん（5年）

私が脱穀作業をして分かったことは、今の時代の脱穀にはコンバインは欠かせないものだということです。コンバインの米を入れる場所に300kgも米が入ると聞いてすごいと思いました。さらに、コンバインで刈り取れる稲の列数を「1じょう、2じょう」と数えるのが面白かったです。



大深内中学校

「キャリア校外学習」(全校)

生徒たちの勤労観・職業観を育てる学習として、青森市にある「ジョブカフェおおもり」を初めて訪問しました。職業講話を聞いたり、ライフキャリアすごろくをしたりすることで、働く意義や将来の職業選びについて考えるきっかけづくりを行いました。



ライフキャリアすごろく



いざわ ひより
伊沢 陽依さん（3年）

今回の訪問で、今の自分はあまり将来のことをイメージしていないことがよく分かりました。話をきいたり、すごろくをしたりして、将来について具体的にイメージしたことで、将来の職業選択は早めに考えておくことが大切だと感じました。これからの進路決定にも役立てていきたいし、自分の「やりたいこと」としっかり向き合っていきたいと思いました。



やまざき ひさひと
山崎 悠仁さん（2年）

最初に話を聞いていた時は「難しそうだな」と思いましたが、働くことの意義や職業選びなどについて詳しく学ぶことができたし、すごろくで友達と楽しみながら自分の将来の選択について深く考えることができてよかったです。今回の体験を通して、まだ2年生だけど、将来のことを考えていくことがすごく大事だと思いました。



いもた かなと
芋田 哉翔さん（1年）

ライフキャリアすごろくをやってみて、生きていく中でいろいろ選択する場面がありました。すごろくで選んだ人生にするのか、それとももっといい人生にしていけるのかを考えながら学校生活を過ごしていきたいです。将来や仕事について、前よりも興味がわいてきたので、これからの進路のことを少しずつ考えていきたいです。

「地域を学ぶ（施設見学学習）」（全校）

「地域を知る学習」を行い、郷土を愛し、郷土に貢献しようとする生徒の育成に取り組んでいます。本年度は、全校で青森市の「三内丸山遺跡」を訪問し、さまざまな体験を通して、改めて自分たちの住むふるさと、青森県の良さを感じてきました。



三内丸山遺跡



たなか ゆうま
田中 勇雅さん（3年）

初めて三内丸山遺跡を訪れて、縄文時代の生活や建物などに触れ、当時の人たちの暮らしをよりリアルに感じる事ができました。見学中に外国人観光客に英語でガイドする練習をしている小学生たちと出会い、堂々と説明する姿を見て刺激を受けました。石器や土器に触れる体験では、昔の人たちが工夫しながら道具を作っていたことがよく分かりました。実際に見ることで、縄文時代の理解が深まりました。



こうだ あや
甲田 彩さん（1年）

小学校で見に行った二ツ森貝塚よりも広く大きな場所でした。復元された家に入ってみて、昔の人たちはこんな家に住んでいたかと思うと、不思議な気持ちになりました。石器でクルミを割る体験をしたとき、今と違って昔は木の実を食べるのもひと苦労したんだと思いました。今回の体験を通して、歴史って思ったより楽しいかもしれないと感じました。

地域で「まなび」、地域で育つ 学校以外での子どもたちのチャレンジ

☎スポーツ・生涯学習課 ☎ 0176-58-0186

市では、子どもたちが地域の中で多様な体験や交流に挑戦できる社会教育活動を行っています。友好都市との交流、寺子屋稲生塾、北里大学夏休み体験学習などでは、小・中学生が仲間と協力し合い、高校生や大学生、地域の方々と関わる中で新たな発見や成長を重ねています。小中高生の皆さん、地域での「まなび」に参加してみませんか。



土佐町親善交流事業
さめうら湖でのSUP体験



第2回寺子屋稲生塾
ニンニクの植え付け体験



北里大学夏休み体験学習
子牛の診察体験



▲詳しくは、市ホームページをご覧ください